

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>33%</td></tr> <tr><td>②</td><td>67%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	33%	②	67%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの対象においても肯定的評価が90%を超えている。 ・「そう思う」の割合が「ややそう思う」の割合に比べて少なくなっているのは課題である。 ・学校評価の場面以外でも、保護者のニーズについて聞ける機会を作っていく必要がある。
	評価項目	割合														
	①	33%														
	②	67%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会、PTA本部会、運営委員会などの機会を利用し、学校教育目標や学校経営方針について発信する。 ・学校公開日などにおけるアンケートは現在も実施しているが、任意なので回答数が少ない。自由記述だけでなく選択式のアンケートを全員に書いてもらう等の工夫により、多くの声を集める。 ・学校運営協議会で熟議を行う。 													
保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>22%</td></tr> <tr><td>②</td><td>69%</td></tr> <tr><td>③</td><td>8%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	22%	②	69%	③	8%	④	0%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標や学校経営方針はよく目にしているが、「教育方針」ということばになると耳なじみがない。アンケートの文言で混乱しているということもあるのではないか。 ・公開日などでのアンケートの回答者数を増やすようにするのは良い案。 	
評価項目	割合															
①	22%															
②	69%															
③	8%															
④	0%															
⑤	0%															
地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>48%</td></tr> <tr><td>②</td><td>52%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	48%	②	52%	③	0%	④	0%	⑤	0%		
評価項目	割合															
①	48%															
②	52%															
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
学校教育目標・教育方針 ②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>39%</td></tr> <tr><td>②</td><td>61%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	39%	②	61%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に1年生の中で「学校教育目標」を理解していない児童が多かった。1年生にもわかることばで、どんな子どもたちに育ってほしいと思っているのか周知させていく必要がある。 ・「学校教育目標」は、学校だよりも常に記載されている。折に触れ、特に取り上げて説明するようにしないと、十分な理解を得ることは難しい。
	評価項目	割合														
	①	39%														
	②	61%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
児童	私は、学校教育目標を知っている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>63%</td></tr> <tr><td>②</td><td>19%</td></tr> <tr><td>③</td><td>6%</td></tr> <tr><td>④</td><td>13%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	63%	②	19%	③	6%	④	13%	⑤	0%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校だより」は、配付するだけでなく、説明したり、関連した話をしたり、家で児童が家族と一緒に読んだりするように奨励していく。 ・学校運営協議会で、広く地域に広報していく方法についても話し合い、協力を得る。 	
評価項目	割合															
①	63%															
②	19%															
③	6%															
④	13%															
⑤	0%															
保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>34%</td></tr> <tr><td>②</td><td>55%</td></tr> <tr><td>③</td><td>9%</td></tr> <tr><td>④</td><td>2%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	34%	②	55%	③	9%	④	2%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童や地域からの評価が高いのは、それぞれ児童と先生、地域と学校の（心理的）距離が近いからではないか。評価できる結果である。 ・1年生に「学校教育目標」を周知徹底する方法は、イラストやピクトグラムのように視覚から導入するのはどうか。 ・児童のグラフを見て、児童が高い意識のもとに学んでいることをとてもうれしく思う。諸先生方の努力がとてもよくわかる。 	
評価項目	割合															
①	34%															
②	55%															
③	9%															
④	2%															
⑤	0%															
地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>68%</td></tr> <tr><td>②</td><td>18%</td></tr> <tr><td>③</td><td>5%</td></tr> <tr><td>④</td><td>9%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	68%	②	18%	③	5%	④	9%	⑤	0%		
評価項目	割合															
①	68%															
②	18%															
③	5%															
④	9%															
⑤	0%															

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察								
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>33%</td></tr> <tr><td>②</td><td>61%</td></tr> <tr><td>③</td><td>6%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	33%	②	61%	③	6%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的評価の中でも教職員による「そう思う」の割合が昨年度比20%近く上昇した。ICT機器利用の工夫や、UD、学び合いを積極的に取り入れ、全員が主体的に参加し、わかりやすい授業になるように工夫してきた成果と考える。 ・現状を良しとせず、更なる工夫が不可欠と考える職員も多い。「学び続ける教師」として、教育力の向上に全職員で取り組む必要がある。
	評価項目	割合										
	①	33%										
	②	61%										
③	6%											
児童	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>66%</td></tr> <tr><td>②</td><td>29%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	66%	②	29%	③	4%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向上心を持って更に授業力の向上に努めるとともに、学年間、教師間で情報共有や教材研究を行い、教師自身の自己肯定感を上げていく。 	
評価項目	割合											
①	66%											
②	29%											
③	4%											
保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育指導する先生に対する児童の距離がとても近いように思う。 ・自分自身の評価についてとても控えめな先生が多いのではないか。 ・（保護者）自分自身が見せてもらった授業はわかりやすかった。 									
地域												

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ④	教職員	児童は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員による肯定的評価が、昨年度に比べてやや向上した。児童・保護者・地域による評価はほぼ同程度である。 ・外部からの参観者の声でも児童が「落ち着いている」という評価をいただいている。 ・児童自身は、まだ十分でないと感じているようである。落ち着いた中で積極的に学習に向かう態度を養いたい。
	児童	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中して話を聞き、「できた・わかった・おもしろい」という気持ちを持てる授業を行っていく。 ・今までも大切にしてきた、良いところを見つけ「ほめて伸ばす」ことを継続し、児童の自己肯定感を更に高めていく。 ・上手な聞き方を児童にわかりやすいように指導したり、掲示物で啓発したりしていく。 ・落ち着いた学習環境をつくっていく。
	保護者	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的評価の数値が、教職員、児童、保護者、地域でおおむね同数であることから、良好な学習指導であると考えます。
	地域	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、児童の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>44%</td></tr> <tr><td>②</td><td>56%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	44%	②	56%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様の結果で、肯定的評価が94%以上となっている。 ・生徒指導委員会等を通し、問題行動を職員間で共有し、組織的に生徒指導にあたる体制ができている。 ・SCなど、専門的な知識や技能を必要とする事例も増えている。学校内だけでなく、諸機関との連携も更に充実させていく必要がある。
	評価項目	割合														
	①	44%														
	②	56%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
児童	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>79%</td></tr> <tr><td>②</td><td>15%</td></tr> <tr><td>③</td><td>5%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	79%	②	15%	③	5%	④	1%	⑤	0%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織的な対応は引き続きしっかり行っていく。 ・SC、SSW、市役所子ども支援課など、細かく連携をし、協力して対応していく。 	
評価項目	割合															
①	79%															
②	15%															
③	5%															
④	1%															
⑤	0%															
保護者	教職員は、児童が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>41%</td></tr> <tr><td>②</td><td>53%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>2%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	41%	②	53%	③	4%	④	2%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の「そう思う」が圧倒的に多いことで安心できるが、少数の（否定的な）意見にしっかり耳を傾けてくれることを期待する。 ・相談員が学校にいる日を増やしていく必要もある。 	
評価項目	割合															
①	41%															
②	53%															
③	4%															
④	2%															
⑤	0%															
地域																

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	児童は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての対象において、肯定的評価が94%を超えている。 ・毎朝「今月の生活目標」や「めあて」などをクラス全員で声をそろえて言うことで、児童自身が目標を持ち、きまりを守っていこうとする気持ちを高めている。
	児童	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業等を通じて、きまりの意味や大切さについて再認識させる。 ・できていることを当たり前と考えるのではなく、当たり前のできていることを、改めてほめて伸ばす指導を行っていく。 ・二小のきまりを全校で再確認し、共通理解、共通行動を徹底させ、指導をしていく。
	保護者	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きまり」の定義が広く、人によって受け取り方が異なり評価も変わってくる。 ・生活目標やめあてを言ったりする学校の取り組みも評価できる。
	地域	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。		

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	児童は校内ですすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>11%</td></tr> <tr><td>②</td><td>61%</td></tr> <tr><td>③</td><td>28%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	項目	割合	①	11%	②	61%	③	28%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの対象においても、昨年度と同様の低い値となっている。特に、地域からの評価については、肯定的評価が15%減少した。 ・コロナ下で大声を避ける指導も並行して行っているため、あいさつの指導がなかなか行きわたらない。 ・生徒指導の月目標としてとりあげ、大切さを説いたり、重点的に指導をしたりしているが、「わかる」から「行動する」へ移行させることが難しい児童が多い。
	項目	割合														
	①	11%														
	②	61%														
③	28%															
④	0%															
⑤	0%															
児童	私は、すすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>53%</td></tr> <tr><td>②</td><td>32%</td></tr> <tr><td>③</td><td>13%</td></tr> <tr><td>④</td><td>2%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>2%</td></tr> </table>	項目	割合	①	53%	②	32%	③	13%	④	2%	⑤	2%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染への配慮で中止していた代表委員会による「あいさつ運動」を再開する。 ・会釈の仕方など、時と場合に応じたあいさつを教えていく。 ・道徳の授業等を通し、あいさつの大切さをしっかり考えられるようにさせる。 ・教師からも明るく元気にあいさつすると同時に、学校外でもあいさつできるよう繰り返し指導を行う。 	
項目	割合															
①	53%															
②	32%															
③	13%															
④	2%															
⑤	2%															
保護者	児童は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>15%</td></tr> <tr><td>②</td><td>57%</td></tr> <tr><td>③</td><td>26%</td></tr> <tr><td>④</td><td>2%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>2%</td></tr> </table>	項目	割合	①	15%	②	57%	③	26%	④	2%	⑤	2%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフを見る限りはおおむね安心できる。 ・道徳の授業等を通じて、せめてスクールガードの人たちに朝のあいさつができるようになることを願う。 ・藤中の朝のあいさつ運動ができていた頃は、もっとその良い影響があった。 ・あいさつができたことをほめることによって持続していけるとよい。 ・登校班の班長がよくあいさつできたり、班員をよく見守っている班は、班員もよくあいさつする。 ・マスクをしている分、目で語る・伝えることが多くなっているため、外部講師などを招いた学びの場があるといい。 	
項目	割合															
①	15%															
②	57%															
③	26%															
④	2%															
⑤	2%															
地域	児童は、地域の人にすすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>23%</td></tr> <tr><td>②</td><td>36%</td></tr> <tr><td>③</td><td>41%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	項目	割合	①	23%	②	36%	③	41%	④	0%	⑤	0%		
項目	割合															
①	23%															
②	36%															
③	41%															
④	0%															
⑤	0%															

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
安 全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的評価の割合は昨年度と同程度である。 ・7月実施の通学路安全総点検は、保護者、地域（スクールガード）と協働して行ったので、点検の結果について市への報告と同時に保護者、地域に伝えておく必要があった。 ・朝の検温・体調チェックのため、職員が登校指導を行うことが困難である。その分を地域や保護者が補完している。お互いにもっと理解し合いながら児童の安全を確保していきたい。
	児童	安全に、安心して登下校できる。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員による登下校等における安全指導や啓発を継続して行う。 ・HPを活用し、学校の安全指導の内容や様子について発信することで、保護者や地域の理解を図る。
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に取り組んでいる。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤオコーができて、交通も多く危険が増したと思ったが、自分で判断し、自分の身を自分で守る行動ができています。 ・下校後に自転車で学校に遊びに来る児童がいるが、門を出たところや交差点で止まらず、ぶつかりそうになり危険を感じた。事故になる前に再度指導してもらいたい。
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に取り組んでいる。		

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的評価の割合は昨年度と同程度である。 ・ホームページを通じて、児童の活動を中心とした新鮮な情報を日々数多く発信したため、閲覧数が激増した。肯定的意見は多く聞かれるが、学校評価の数値にはあまり反映されなかった。
	児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽にホームページにつながれるように、お便り等にQRコードを添付して広報する。 ・今後もホームページを通じて学校や児童の様子を伝えられるよう、新鮮な情報を発出する。
	保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も新鮮な情報を発信していただけることを期待する。 ・「情報発信」についてはわかるが、「地域に根ざした、開かれた学校づくり」については、質問が漠然としていて答えにくかったと思う。
	地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>56%</td></tr> <tr><td>②</td><td>39%</td></tr> <tr><td>③</td><td>6%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	56%	②	39%	③	6%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員、保護者においては肯定的評価が90%を越える高い評価となっている。 ・地域からは、もっと地域住民が参加できる機会が欲しいとの声もある。コロナ下で難しい側面もあるが、児童と地域がお互いを身近に感じる工夫が必要である。
	評価項目	割合														
	①	56%														
	②	39%														
③	6%															
④	0%															
⑤	0%															
児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お世話になっている方々の顔が見え、もっと身近に感じられるよう、「感謝の会」のような取り組みに加えて、廊下掲示の写真で紹介するといった活動を取り入れる。 ・教科指導を通して、地域に支えられていることを児童にもっと伝えていく。 ・リモートで地域とつながる活動も取り入れる。 ・学校応援団の活動の様子をホームページでより多く発信していく。 													
保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>33%</td></tr> <tr><td>②</td><td>58%</td></tr> <tr><td>③</td><td>8%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	33%	②	58%	③	8%	④	0%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの「教育活動に活用」という表現だと、授業などで活用していることととらえてしまう。安全見守りや環境整備等々でも地域人材が活用されていることは周知されていると思うので、その視点からならば、もう少し評価は上がるだろう。 	
評価項目	割合															
①	33%															
②	58%															
③	8%															
④	0%															
⑤	0%															
地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>45%</td></tr> <tr><td>②</td><td>30%</td></tr> <tr><td>③</td><td>20%</td></tr> <tr><td>④</td><td>5%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	45%	②	30%	③	20%	④	5%	⑤	0%		
評価項目	割合															
①	45%															
②	30%															
③	20%															
④	5%															
⑤	0%															

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境 ⑪	教職員	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの対象においても肯定的評価が90%以上の高評価となった。 ・異学年で清掃分担しているところがあったり、他学年の先生が指導したりするなど全校で清掃活動に力を入れていることが高評価につながったと考える。 ・清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めているが、清掃活動においては、目標としている「無言清掃」の徹底が課題である。
	児童	私は学校をきれいにしようと心がけ、清掃をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「無言清掃」の徹底のために、お互いに注意し合ったりする必要もなく、黙々とそうじに取り組めるようにしていく指導が必要。 ・そうじ時間の放送（BGM）もできるだけ小さくし、音を出さない清掃を目指す。
	保護者	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校はきれいである。 ・児童と地域の「そう思う」の評価が高いことが安心材料。
	地域	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
働き方改革 ⑫	教職員	⑫学校は、働き方改革を進め、教科指導や教育相談等、直接児童に係る時間が増えるよう努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>0% 79% 21% 0%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働の低減のため、組織的に働き方改革に取り組んでおり、その成果も出ているが、学校評価項目として初めての項目で、基準もない中で評価をしたので、やや厳しめの結果となったと考えている。
	児童		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員皆で知恵を出し合い、現在できることには取り組んでいるので、今後も継続していく。 ・分担できる仕事は分担し、優先順位を考えながら仕事をす。 ・職員会議後に行っている「カエル会議」で、更に意見を募り、更に改善できることを具体的にして取りこんでいく。
	保護者		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疲れた教職員からは良い指導力は生まれないと思う。 ・先生方も定時で帰れることが望ましい。
	地域		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	